

特集：入学

ランタン

千葉 親文（筑波大学 生命環境系）

理学はすべての実学を中心です。そして、理を解する方法が科学です。私たちは理の存在理由に畏敬し、理というその現れを科学し、そして理から私たち自身、そして世界／宇宙を知ろうと努力しています。理は、扱い方によって、時には人を幸福にしますが、時にはすべてを破滅に導きます。人は常にこのことを心に留め、科学者たらんとするもの、技術者たらんとするものは、その良識を磨かねばなりません。このような考え方は、もしかすると今どきは古い価値観なのかもしれませんが、生物学類はこの哲学を大切にしていると私は信じておりますし、私もまたこの哲学に賛同するものです。

．．．と言うことで、ご入学おめでとうございます、新入生の皆さん、ご家族の皆さん。1年1クラス担任（学年主任）として皆さんと4年間お付き合いさせていただきます千葉親文と申します。よろしく願いいたします。私の専門は再生生理学で、動物の再生のしくみを知り、人につなげることを目標にしています。信念は冒頭に述べたとおりです。4年間、共に生物学という科学、そしてそこから導かれてきた仮説、そして生（命）とその応用技術についてみっちり学んでいきましょう。

さて、新入生の皆さん．．．皆さんはこれから、先の見えない真っ暗闇の未来に突き放されることになります。確かに、皆さんはこれまで勉強に勉強という大変な時代を過ごしてこられました。しかしそれでも、大学受験という目標があっただけかもしれません。家族の支えもありました。むしろ家族の皆さんが道を照らしてくれていた、というのが大方の真実かもしれません。しかし、これからは違います。自らで歩む道を照らし出さないといけません。立ち止まるか、家族のもとに逃げ帰るか、そんな選択肢はありません。つまり、巣立たなければ（自立しなければ）ならないのです。

別の見方をすれば、この状況は皆さんにとって「自由」を意味します。間違いなく、皆さんの行く手にはたくさんの道があります。

．．．ところで、皆さんはいついどこに行くつもりですか？目標がありますか？ 目標を見つけなければ．．．でも、どうやって？ それに、道を照らし出す明かりも必要です。

目をつぶって10年先を想像してみましょう。そして10年後の自分に問いかけてみてください、「Am I happy?」って。そのとき「Yes」と答えられる自分がそこにいれるように目標を立ててみてはどうでしょうか？

．．．でも、もしかしたら、ほとんどの人が10年先を想像することすらできなかったかもしれません。実際、この激動の時代に一寸先も想像できるわけがないというのも正しい答えかもしれません。．．．それでも、「こんな風になりたい」、「こんなことをしていきたい」という夢や志はあるはずです。

これを現実のものにしていくために、皆さんはこれからさらに厳しい修業を乗り越え、道を照らす明かりを獲得していく必要があります。では、どんな明かりが必要か？

生物学類には私たち担任を含め経験のあるたくさんの相談役がいます。また、大学は様々な修業の場を提供してくれています。有意義な明かりをたくさん集めて、道を照らす強力なランタンを手にししょう。

．．．って、RPGゲームのノリに聞こえたかもしれませんが、これはリアルです。繰り返しがきくものではないと覚悟しましょう。本当に大切な4年間と心してください。

偉そうに話してきましたが、伝えたいことをまとめますと、「これからの10年先を見据えて目標を立てなさい」ということ、そして「その目標に向かって力を鍛えなさい」、ということです。大学のカリキュラムはもちろんですが、それ以外の様々な活動にも積極的に参加するなどして、世界を俯瞰する力を身に付けてください。英語やコミュニケーション力については言うまでもありません。グローバルの波に臆することなく、もともと地球は一つなのですから、世界中の仲間と共に問題を発見し、解決の努力ができる人間になりましょう。

私からの言葉は以上です。

ガンバレ1年生！ それでは4年後．．．いや10年後を楽しみにしております。

こんなのはどうでしょう？

Contributed by Chikafumi Chiba, Received April 21, 2014.